

進路指導室へようこそ 3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第34号

令和7年11月7日(金)発行

■受験校って、どうやって決めるの？

群馬県内にある数校の選択肢から受験校を決める高校入試と違い、大学入試は全国にあるたくさんの大学の中から受験校を決めることになります。当然選択肢も様々です。そこで、今回は多くの選択肢のなかからどのようにして受験校を決めていくのか、ということについての基本的な考え方をまとめてみました。戦略的な話にもなるので1・2年生にとってはピンとこない部分もあるはずですが、3年生になったときの予習のつもりで考えてほしいと思います（ここでは一般入試を念頭においています）。

受験校を決める最大の決め手は当然「**そこに自分の学びたいことがある**」ことです。ですが、全国を視野に入ればその希望を満たしてくれる大学は結構たくさんあります。もしかしたら「やりたいこと」がいくつもある人もいるかもしれません。そうすると、更に候補となる大学は増えるでしょう。その大学に合格するために必要な力（難易度）も様々ですが、1・2年生のうちは研究のレベルや環境などを考えれば目標は高めに設定しておくべきでしょう。ただ3年生になるとそこに現実的な要素（つまり、学力）が入ってくるため、自分の実力と目標をすり合わせていく作業が必要になってきます。特に共通テストと個別試験の成績の合計で合否が決まる国公立大の場合は、共通テストの結果をもとに出願校を決めるわけですから、共通テストの結果により複数の選択肢を用意しておく必要があります。その際に目安として考えるのが

α プラン・β プラン・γ プラン

です。

受験候補校は、現在の学力と比較すると、

- ・ **目標校**（もう少し頑張って何とか届けたい）
- ・ **実力相応校**（このまま行けば勝負ができる）
- ・ **安全校**（多少失敗しても合格が見込める）

の3グループに分けられます。模試判定だと目標校はC～D（E）、相応校はB～C、安全校はA～Bといった感じでしょうか。当然一番行きたいのは目標校のはずですよ。

受験計画を作るにあたっては、このことを念頭に置いて受験校の準備をしておくのです。つまり、共通テストを受験した結果、

- ・ 想定通りの好結果なら、α プラン（挑戦！）
- ・ やや想定を下回ったら、β プラン（相応校）
- ・ 想定をかなり下回ったら、γ プラン（安全校）

としておくことになります。

例えば北海道大（文）を第一志望としている生徒が考える受験プランの一例としては

	α プラン	β プラン	γ プラン
共テ得点	76%～	70～75%	～70%
前期	北海道大（文）	千葉大（文）	新潟大（人文）
後期	信州大（人文）	新潟大（人文）	山形大（地域教育）

東北大（工）を第一志望としている生徒が考える受験プラン例としてはこんな感じでしょうか。

	α プラン	β プラン	γ プラン
共テ得点	80%～	70～80%	～70%
前期	東北大（工）	千葉大（工）	埼玉大 群馬大
後期	埼玉大（工）	群馬大（理工）	群馬大（理工）

注：あくまで一例であり得点率等は仮の数字です。

ここで大事なのが、「共通テストを**受験する前に**3パターン考えておく」ことなのです。共通テストが終わればすぐに私大受験が始まり国公立大受験まで怒涛の1か月を迎えます（特に今年は共通テストから前期入試までの期間が短い！）。そのスタート時に、「共通テストちょっと失敗したー、さてどこを受けるか」と初めて考えるようでは貴重な時間を大きくロスします（迷っている時間が勿体ない！）。自己採点の結果が出たら（言い方は悪いですが）機械的に志望校を決められて（そして、腹をくくって）すぐに受験の準備を始めることが大事。そのために2学期のこの時期に「あらゆるパターンを想定しておく」ことに意味があるのです。

第一志望の大枠が決まればあとは後期の受験校と私大の受験校。前期試験が不合格だった場合は私大合格校の最上位校と後期国公立大との比較になりますが、「できれば国公立」の優先度が高い場合は後期の大学も当然きちんと考えておく必要があります。近年後期試験を実施する大学は減少傾向にありますが、少ない選択肢の中から選ぶことになりますので選択は意外に難しいもので

す。基本的には前期受験校との兼ね合いになりますが、

前期でややチャレンジ→後期は手堅く
前期で堅実に→後期も同程度または手堅く

というのが基本線かと思われます。

そして最後は私大の受験校です。「国公立一本なので私大は行かない」という人もいるかもしれませんが、最優先の国公立大の受験を優位に進めるためにも私大受験は有効に使いたいものです。メリットは

- ・緊張感のある会場での受験で場慣れができる
- ・1つの合格が心の安定を生み出す
(この時期としては最高の御守りになる)

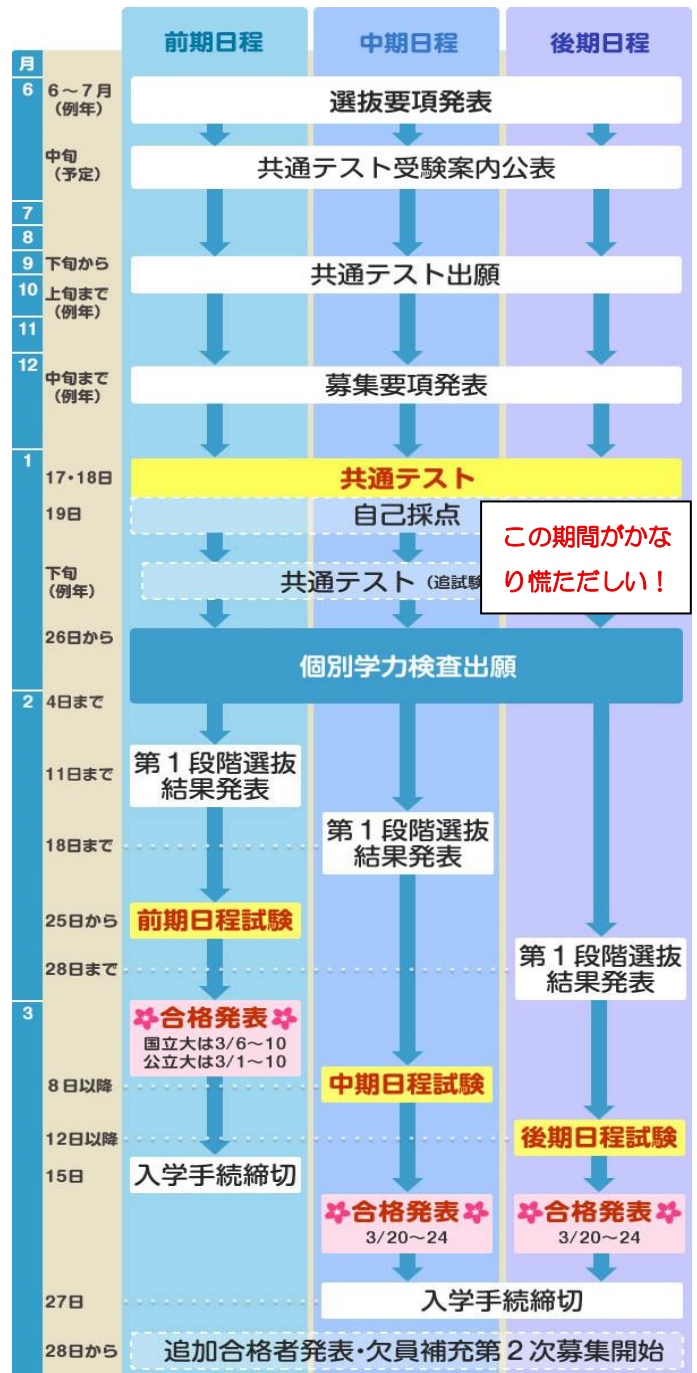
ことなどでしょう。本命校の受験までに合格校が1つもない、というのは思いのほかキツイんだよね(と、経験者は皆口を揃えて言います)。負担を減らすための共通テスト利用受験や、地元(前橋・高崎)で受験できる私大もたくさんあります。12月入試で合格を1つ取りに行くというのもひとつの手です。私大の受験は、日程や方式など、それこそ無数の選択肢が発生しますので、実は国公立大以上にスケジュール管理が重要になります。私大受験プランのポイントとしては

- ①共テ利用入試を活用して日程に余裕を設ける
- ②基本的には易→難の順に受ける
- ③受験日程には適度な間隔を空ける
- ④自分に有利な受験方式、試験日を選ぶ
- ⑤受験期間も学習時間を確保できるようにする

などが挙げられます。また、手続きや入学金支払い期限なども考えて、なるべく経済的な負担が少なくなるようにもしたいものです。そのために必要になってくるのが「受験カレンダー」です。出願期間・試験日・合格発表日・手続き締切日などを一覧にまとめることで、

受験期間の生活の見通しが明確になります。今はスマホのアプリ等で管理もできますが、やはり自分の手で作成し(何度も書き直ししながら)、常に携行している、ということにも意味があります。私大受験校については「みちしるべ」に過去の前女生が受験した私大ベスト20が載っていますので参考にしてみるのもよいでしょう。

結論としては、「綿密な事前準備が余裕のある受験を生む」ということでしょうね。



本校生が受験する大学ベスト20

私立大学

2025年度	人数	2024年度	人数	2023年度	人数	2022年度	人数	2021年度	人数	2020年度	人数
明治	133	明治	153	明治	118	立教	107	中央	97	早稲田	126
法政	113	立教	102	立教	103	早稲田	95	明治	83	立教	121
早稲田	96	早稲田	101	早稲田	99	明治	91	立教	77	東洋	118
中央	76	中央	87	中央	92	東洋	90	早稲田	70	明治	110
東洋	75	法政	85	法政	74	法政	70	東洋	69	中央	96
立教	75	東洋	63	東洋	71	中央	64	法政	68	法政	88
東京理科	62	東京理科	62	東京理科	69	日本	53	日本	61	日本	65
慶應義塾	45	学習院	48	日本	52	東京理科	46	文教	43	文教	44
芝浦工業	38	青山学院	42	駒澤	52	高崎健康福祉	41	芝浦工業	39	高崎健康福祉	42
高崎健康福祉	36	成蹊	40	専修	48	東京女子	39	東京女子	38	芝浦工業	41
青山学院	34	芝浦工業	37	高崎健康福祉	43	芝浦工業	35	東京理科	28	専修	37
明治学院	33	上智	35	芝浦工業	43	明治学院	35	北里	27	青山学院	36
日本	30	慶應義塾	33	慶應義塾	42	獨協	34	獨協	26	東京女子	36
國學院	26	東京女子	30	青山学院	39	津田塾	29	高崎健康福祉	26	明治学院	35
上智	25	明治学院	30	東京農業	31	慶應義塾	28	学習院	24	成蹊	33
学習院	24	日本	28	明治学院	29	北里	26	慶應義塾	24	北里	31
専修	23	高崎健康福祉	27	日本女子	26	文教	25	駒澤	22	神奈川	30
津田塾	21	国際医療福祉	23	東京女子	26	専修	25	明治学院	22	獨協	29
立命館	20	東京農業	21	上智	26	青山学院	24	杏林	20	駒澤	29
文教	19	北里	20	東海	26	成蹊	23	成蹊	20	帝京	28
北里	19	駒澤	20					専修	20	東京理科	28